第1回Linked Open Data (LOD) 活用ワークショップ

2017年8月3日(木) @理研東京連絡事務所



ハンズオンセッション LOD用検索言語SPARQLの基礎

> 大阪大学 産業科学研究所 古崎晃司

本ハンズオンの内容



ねらい

LOD用検索言語SPARQL用いた基本的なクエリの 書き方を学ぶ

■ 取り組む内容

- 関心があるデータのIRIを探す
- 検索例1:主語のみ指定
- 検索例2:主語と述語を指定
- 検索例3:FILTERによる絞り込み
- 検索例4: 述語と目的語を指定
- 検索例5:複数パターンの組み合わせ
- 検索例6:カウントを利用したランキング

ハンズオンに必要なデータ



- ※以下の2つのURIは常にWebブラウザで開けるようにしておいて下さい.
- 利用するLODのSPARQLエンドポイント
 - 今回のハンズオンでは、
 WikidataのSPARQLエンドポイント(検索用API)
 https://query.wikidata.org/ を利用します。
- <u>必要なサンプルクエリ</u>, URL等
 - 資料置き場
 https://github.com/KnowledgeGraphJapan/LOD ws1st にある /SPARQL-Lec/SPARQL-query-samples.md をご覧下さい.

ハンズオンの手順



- 1. サンプルクエリの解説
 - スライドで解説+前のPCでクエリを実行
- 2. サンプルクエリを各自のPCで試す
 - サンプルクエリをコピー&ペーストして実行
- 3. サンプルクエリの一部を,各自の興味に応じて書き換えたクエリ試す
 - サンプルクエリの一部を書き換えて、実行してみる。
 - 試したクエリは、各自の手元のファイルにコピーして 残しておく(後のハンズオンでも利用する)
 - ※質問があれば、随時、手を挙げてください。

関心があるデータのIRIを探す

WikidataでのURIの探し方



- 1. Wikidataのページを利用
 - \rightarrow 各データのページのメニューにある「Concept URI」 から取得.
 - ※該当ページは、下記の方法で検索できる
 - 』 検索欄から「Wikidata内を検索」
 - Wikipediaの各記事のページのメニューから 「ウィキデータ項目」のリンクを辿る
- 2. SPARQLクエリを用いた検索
 - →後ほど説明
- 3. 代表的なURIをまとめたページを利用する

Wikidataのページ例





練習:IRIを探して, LODを閲覧 WWw.hozo.jp



- (1)Wikidata上で「大阪大学」のIRIを調べ、 ブラウザで、リソース(データ)を閲覧する
 - Wikidataの検索欄を利用
 - Wikipediaからのリンクを利用
- (2)各自が関心のあるリソースのIRIを3~5個 ほど調べ、ブラウザで閲覧してみる
 - 調べたIRIは、後のクエリで「サンプルの書き換え」に 使用するのでメモしておく
 - ▶ 固有名詞(インスタンス)を調べることを推奨 例) 君の名は。 夏目漱石 ドラゴンクエスト
 - データの記述(プロパティの種類)が多いものを探す

SPARQLクエリの基礎

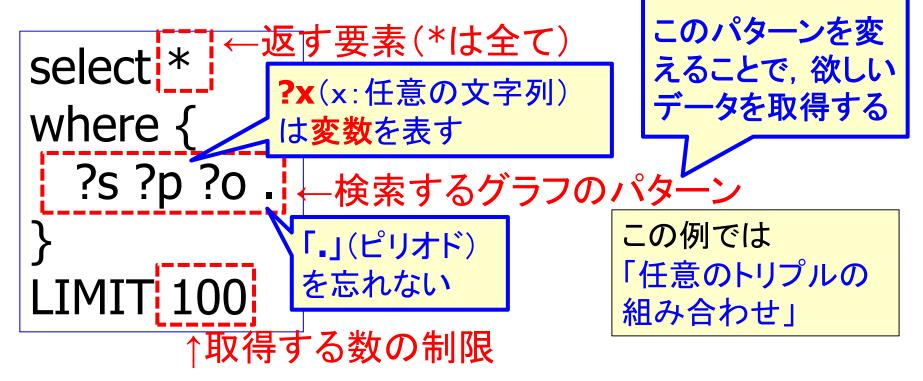
SPARQLによるRDFの検索



SPARQL

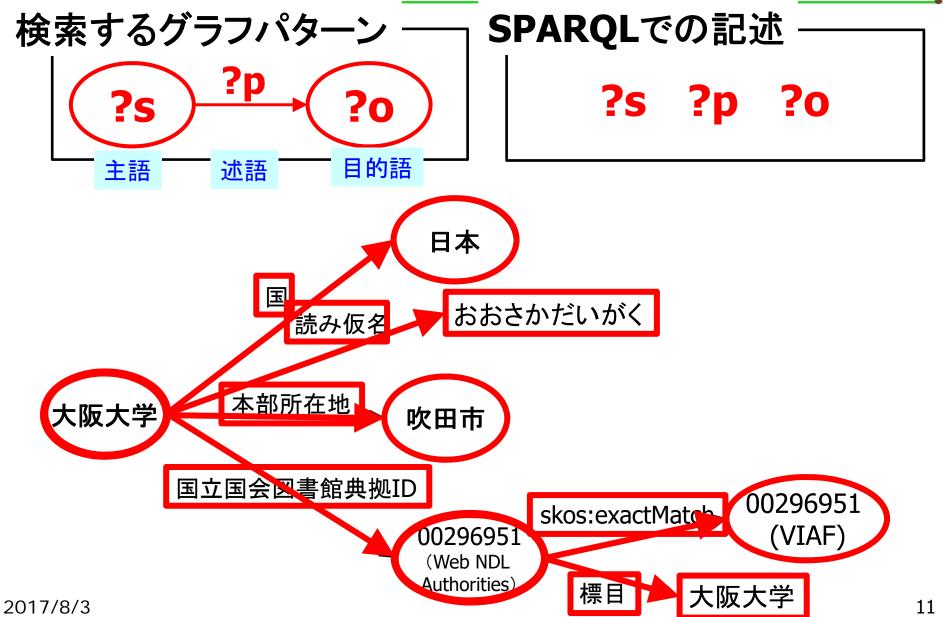
- RDFデータに対するクエリ言語
- ■「指定したグラフ構造」に一致するトリプルを検索する

■ 最も基本的な検索

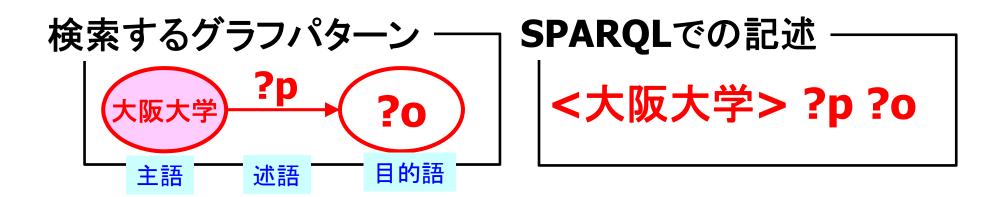


グラフパターンによる検索





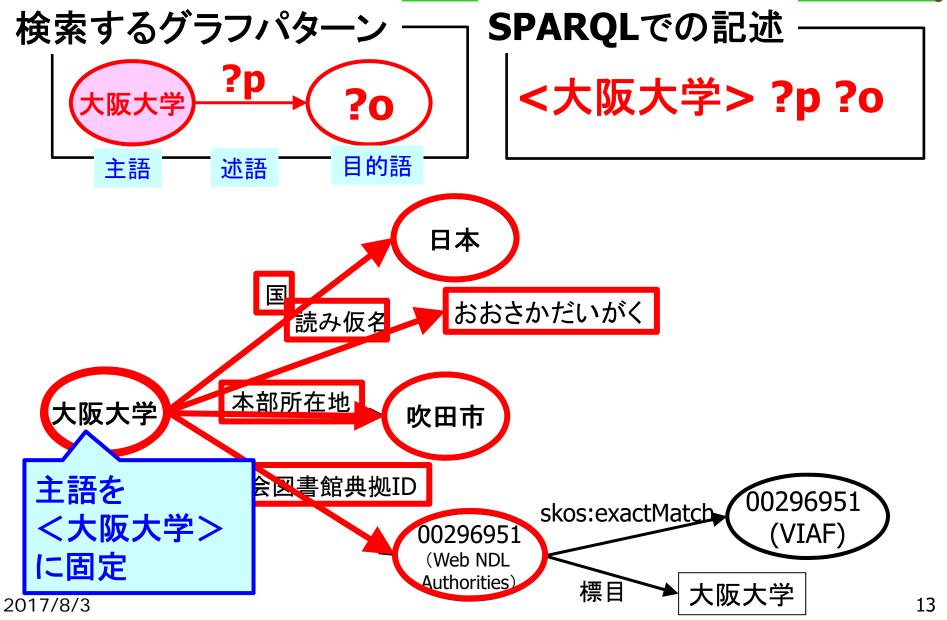
検索例1:主語のみ指定



12

検索例1: グラフパターン





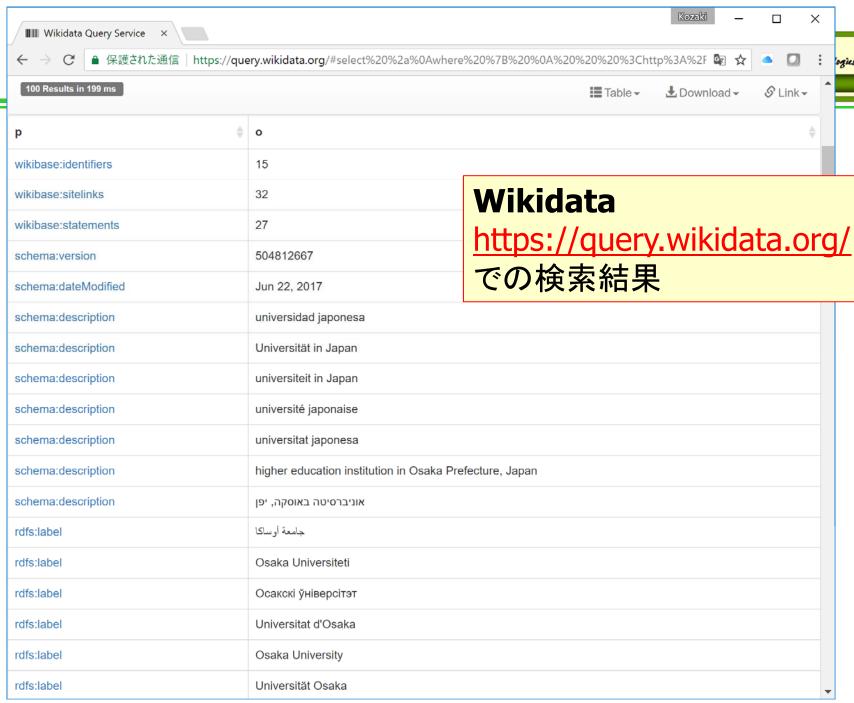
検索例1:主語のみ指定



■「大阪大学」を主語(Subject)に含むトリプルの 述語(?p)と目的語(?o)を取得する

補足:selectの詳細指定

- 重複した結果を除く場合
 - →select distinct * とする
- •取得する変数を明示的に指定する場合
 - →select ?p ?o とする



検索例1-2:主語のみ指定



■「大阪大学」を主語(Subject)とするトリプルの 述語(?p)を取得する(<u>重複除く</u>)

```
select distinct ?p
where {
    <http://www.wikidata.org/entity/Q651233> ?p ?o .
}
LIMIT 100
    Wikidataで「大阪大学」を表すURI
```

→このようなクエリを用いることで, 利用されている<mark>プロパティの(種類の)一覧</mark>を 調べることが分かる



■ PREFIX(接頭語)を定義することで、URIの省略 表現が可能

```
select distinct ?p
where {
  <a href="http://www.wikidata.org/entity/Q651233">> ?p ?o .
}LIMIT 100
```

```
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikidata.org/entity/>
select distinct ?p
where {
  wd:Q651233 ?p ?o.
}LIMIT 100
```

PREFIXの定義

省略表現に用いる文字列は任意に 設定できるが、できるだけ慣習的に 利用されるものにあわせるとよい.

クエリ練習1



- (1)検索例1のクエリを実行する
 - PREFIX利用せず
 - distinctをつける
 - PREFIXを利用
- (2)主語とIRIを変え、同様のクエリ(PREFIX 利用のみでよい)を実行する
 - 先ほど調べてIRIを使う
 - 各IRIごとに、どのような述語(プロパティ)を持つか を調べる

今回の演習で用いるPREFIX



■ RDF一般のもの

- rdfs: <http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>RDFスキーマ(基本的な語彙定義)
- schema: <http://schema.org/> Webのメタデータに記述される語彙
- skos: "> Web上でのシソーラス、用語集などに用いられる語彙

■ Wikidataで使われるもの

- wd: <http://www.wikidata.org/entity/> エンティティ(もの, コト, データ)
- wdt: <http://www.wikidata.org/prop/direct/>
 プロパティ(述語/関係)※主にSPARQL検索用の直接関係

■ PREFIXの検索サービス

https://prefix.cc/

WikidataのRDFでは、詳細情報を記述するため、同じ内容のプロパティが3種類記述されているが、今回はwdt:を使う

検索例2:主語と述語を指定

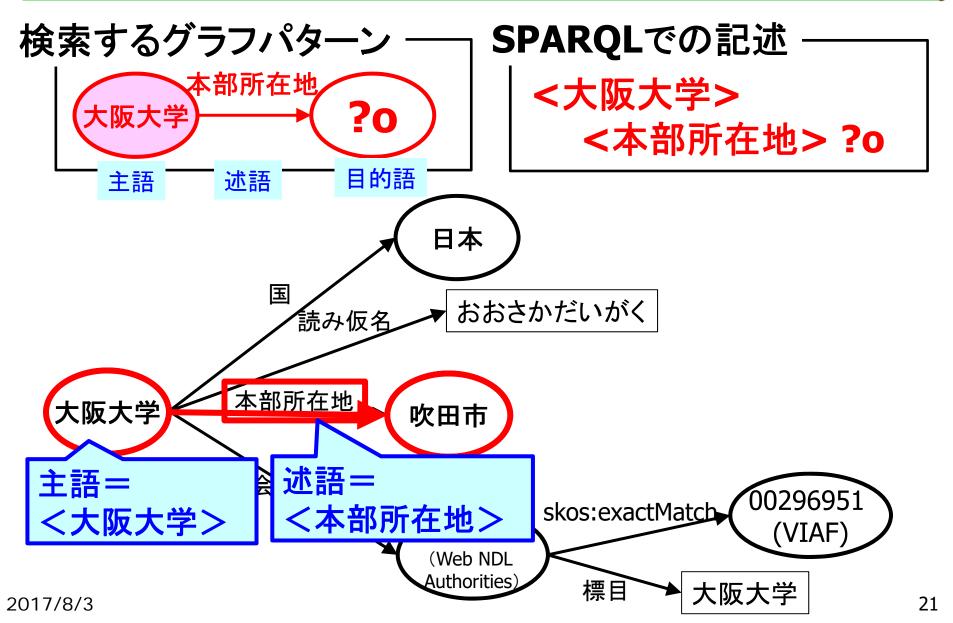
検索するグラフパターン 本部所在地 大阪大学 ?0 主語 述語 目的語

SPARQLでの記述

<大阪大学> <本部所在地> ?o

検索例②のグラフパターン





検索例2:主語と述語を指定



■ 例2-1)

「大阪大学」の「本部所在地」となる目的語(?o) を取得

```
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/prop/direct/">
select distinct ?o 「本部所在地」を表すプロパティ(述語)
where {
wd:Q651233 wdt:P159 ?o.
}LIMIT 100
```

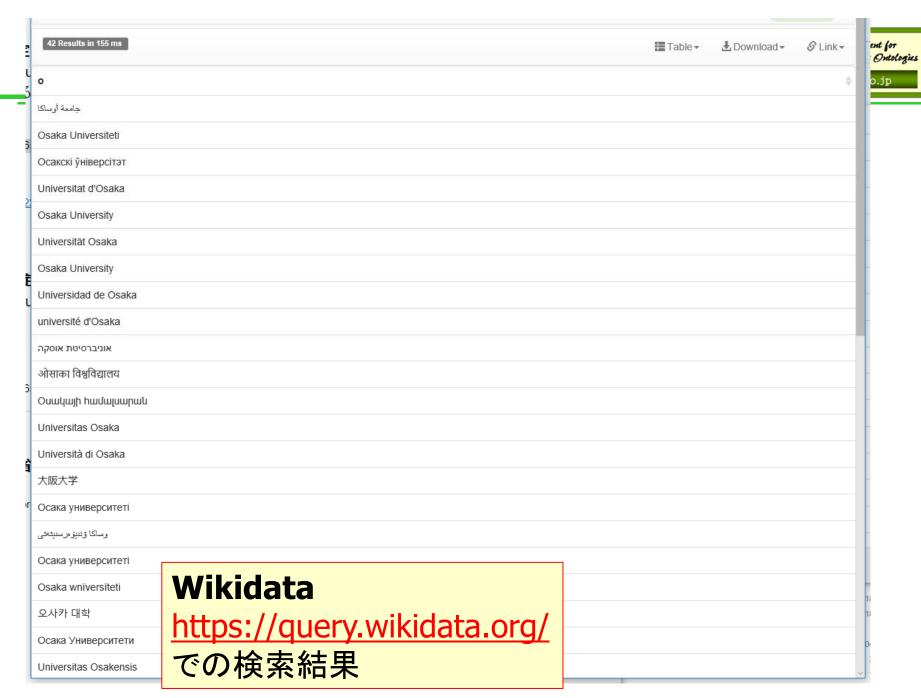
検索例2:主語と述語を指定



■ 例2-2)

「大阪大学」のラベルとなる目的語(?o)を取得

```
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">
PREFIX rdfs: <a href="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#">
select distinct ?o 「ラベル」を表すプロパティ(述語)
where {
wd:Q651233 rdfs:label ?o.
}LIMIT 100
```





■「大阪大学」のラベルとなる目的語(?o)と、その言語種別を取得

```
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikidata.org/entity/>
```

PREFIX rdfs: http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>

```
select distinct ?o
```

「ラベル」を表すプロパティ(述語)

where {

wd:Q651233 rdfs:label ?o.

}LIMIT 100

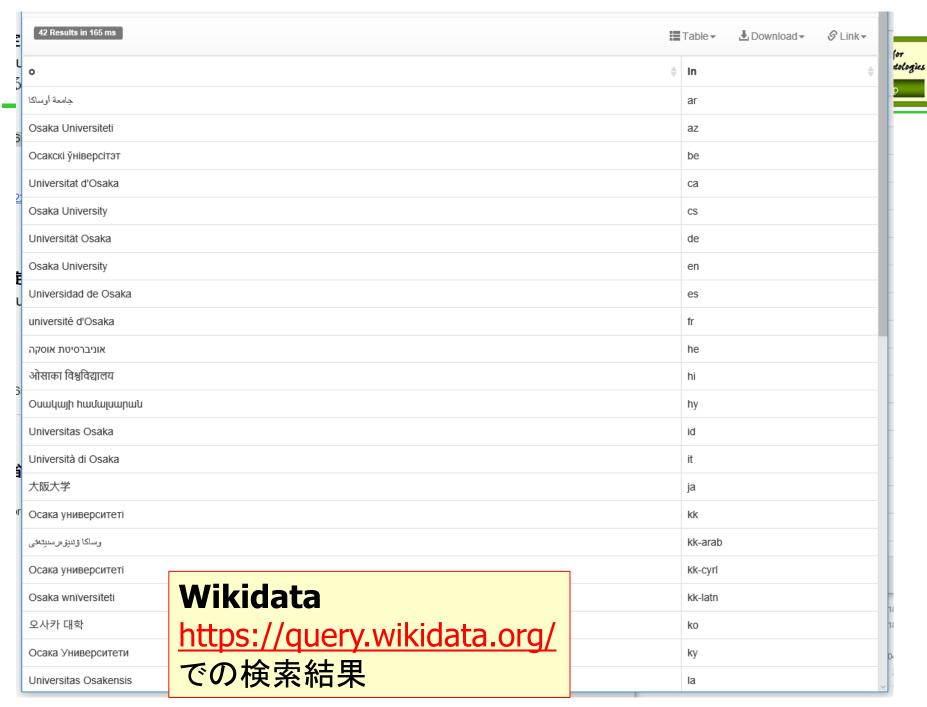
「言語種別」を取得する関数

select distinct ?o (lang(?o) AS ?ln)

とすることで,

結果を別の変数に代入

「言語の種別」がを合わせて取得できる



クエリ練習2



- (1)検索例2のクエリを実行する
- (2)主語とIRIを変え、同様のクエリを実行する
 - 検索例2-1の「本部所在地」の代わりとなる、適当な 述語(プロパティ)を選択して用いる

ヒント: プロパティの探し方



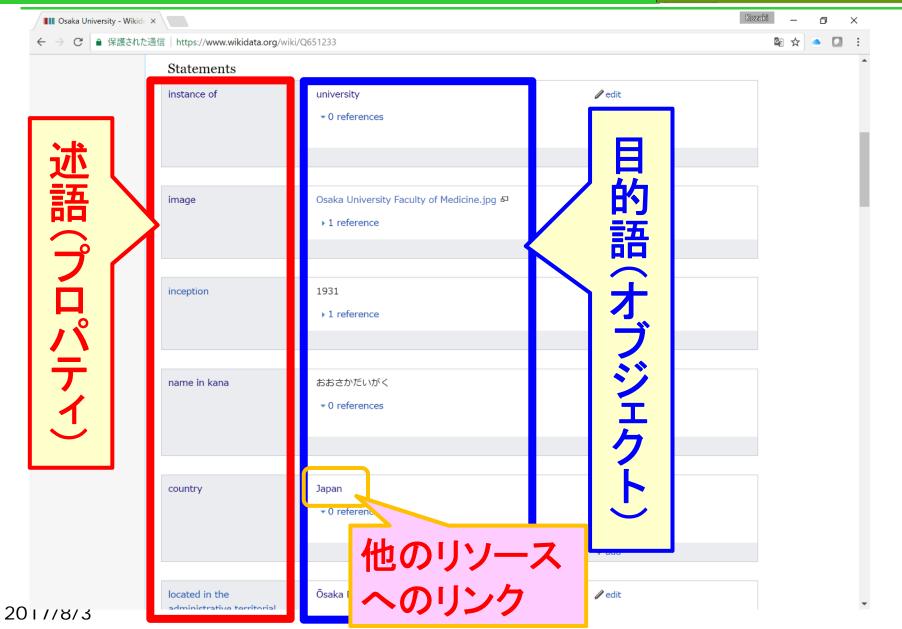
- (1)適当なデータ(インスタンス)を探し、 そのデータのプロパティを調べる
 - データをブラウザで閲覧して調べる
 - →Wikidataの場合「Statements」欄をみる
 - SPARQLクエリで探す(検索例1-2)
 - →Wikidataで定義されたプロパティは「wdt:P〇〇」 のものを使うとよい.

(同じIDの「p:POO」も見つかるが、今回は使わない)

- (2)プロパティー覧をまとめたページを調べる
 - Wikidataのプロパティー覧(抜粋)
 https://www.wikidata.org/wiki/Wikidata:List_of_properties

Wikidataのデータ閲覧ページ例





ヒント: プロパティを調べるクエリ はと www.hozo.jp

- 大阪大学(wd:Q651233)につながるプロパティを 調べる例
 - (1)大阪大学を主語とするプロパティ

```
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikidata.org/entity/<a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikidata.org/entity/<a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikidata.org/entity/<a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikidata.org/entity/<a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikidata.org/entity/<a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://wwww.wikidata.org/entity/<a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikida
```

(2)大阪大学を目的語とするプロパティ

```
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikidata.org/entity/</a></a></a></a>
```

検索例3

:FILTERによる絞り込み

検索するグラフパターン・

任意のグラフパターンと 組み合わせて使用できる SPARQLでの記述

FILTER(絞り込み条件)

例3-1: Filterによる絞り込み



■「大阪大学」のラベルとなる目的語(?o)から、 "日本語のラベルのみ"を取得

例3-2:その他のFilter



■ 「大阪大学」のラベルとなる目的語(?o)のうち、 "Osaka"という<u>文字列を含む</u>もの取得

```
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikidata.org/entity/>
PREFIX rdfs: <a href="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#">http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#</a>>
select distinct ?o
where {
  wd:Q651233 rdfs:label ?o .
  FILTER (regex(?o,"Osaka")).
}LIMIT 100
                  正規表現での
```

文字列一致判定

クエリ練習3

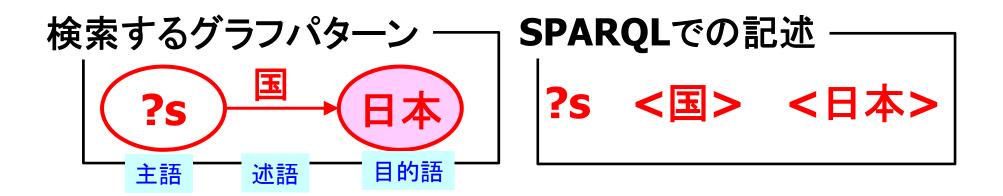


■ (1)検索例3のクエリを実行する

■ (2) 先に調べたIRIを用いて、同様のクエリを実 行する

検索例4

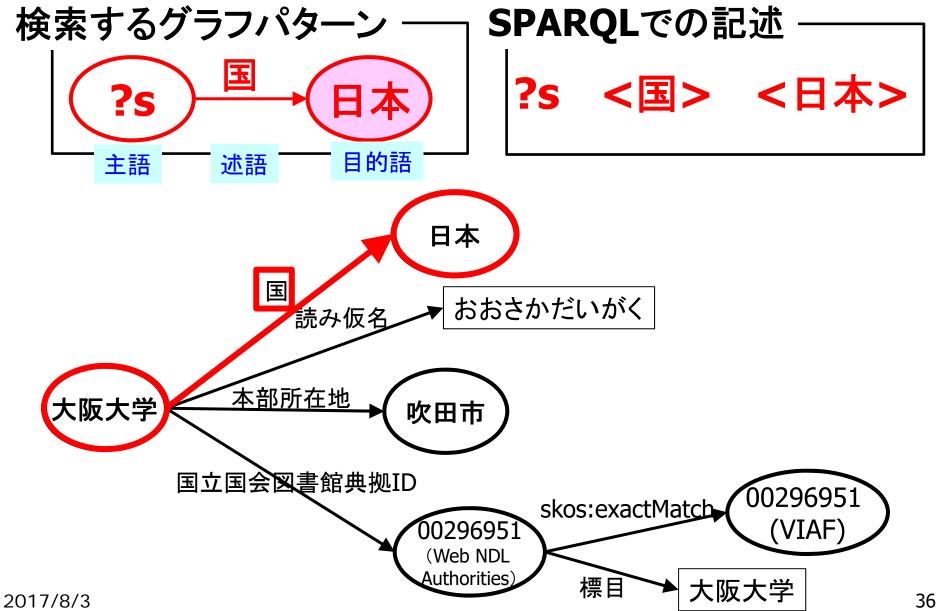
: 述語と目的語を指定



35

グラフパターンによる検索





検索例4:述語と目的語を指定 Wiking/Using Ontologies Www.hozo.jp



■ 例)4-1:「国が"日本"と一致する」トリプルの主語(?s)を取得する

```
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/prop/direct/">PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/prop/direct/">PATA Wd: <a href="http://www.wikidata.org/prop/direct/">http://www.wikidata.org/prop/direct/</a></a></a>
```

検索例4: 述語と目的語を指定



■ 例)4-2: 「ラベルが"大阪大学"と一致する」トリ プルの主語(?s)を取得する

PREFIX wd: http://www.wikidata.org/entity/>

PREFIX rdfs: http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>

select ?s

where {

リテラルの指定

(※データの言語指定も含めて一致が判定される)

?s rdfs:label "大阪大学"@ja.

}LIMIT 100

1 Results in 241 ms

★ラベルが分かるとき、IRIを取得できる

S

「リンクのコピー」 でURIを取得できる

Wikidata

<u>https://query.wikidata.org/</u> での検索結果

Q wd:Q651233

WikidataでのURIの探し方

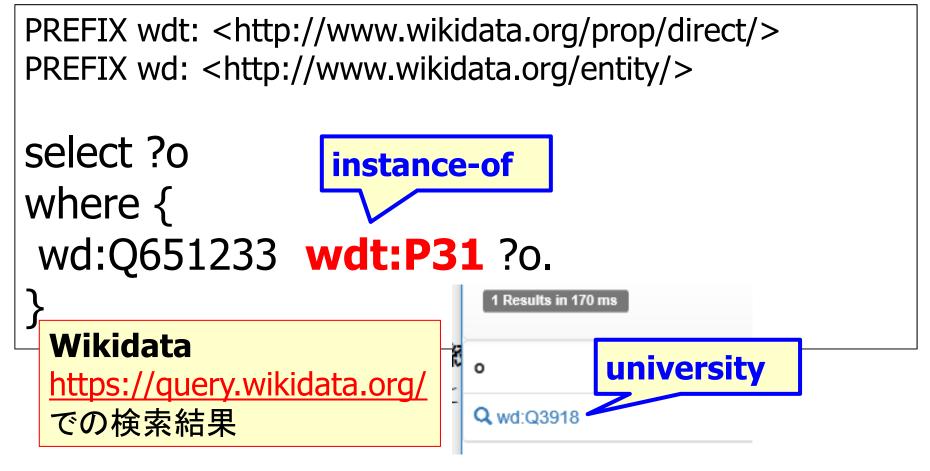


- 1. Wikidataのページを利用
 - \rightarrow 各データのページのメニューにある「Concept URI」 から取得.
 - ※該当ページは、下記の方法で検索できる
 - 1 検索欄から「Wikidata内を検索」
 - Wikipediaの各記事のページのメニューから 「ウィキデータ項目」のリンクを辿る
- 2. SPARQLクエリを用いた検索
 - →ラベルの完全一致: 検索例4-2
 - →FILTERでラベルの部分一致: 検索例3-2
- 3. <u>代表的なURIをまとめたページを利用する</u>

検索例4:主語のクラスを調べる



■ 例)4-3)「大阪大学」のクラス(何のインスタンスか?)を取得する



検索例4: 述語と目的語を指定し, 主語の一覧を取得



■ 例4-4)「大学」のインスタンスの一覧を取得する

※例4-3)「wd:Q651233 wdt:P31 ?o」と比較し、変数を「目的語(?o) から主語(?s)」に変えている →この変更により、「条件を満たす主語(?s)の一覧を 取得する」クエリが作れる

クエリ練習4



■ (1)検索例4のクエリを実行する

(2)文字列一致のクエリを用いて、先に調べた リソースのIRIを、SPARQLクエリを使って調 べることができるか確かめる

(3) 先にIRIを調べたリソースの「クラス」を調べ、同じクラスのインスタンス一覧を取得するクエリを実行する

ヒント: クラスの探し方



- (1)適当なデータ(インスタンス)を探し, そのデータのinstance-ofの目的語を調べる
 - データをブラウザで閲覧
 - SPARQLクエリで探す→検索例4-3
 - ※Wikidata以外の一般のLODでは rdf:typeの目的語を調べる
- (2)クラス一覧をまとめたページを調べる
 - Wikidataのクラス一覧 https://goo.gl/E3zPn8

検索例5

:複数パターンの組み合わせ

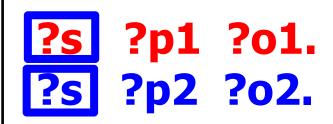
グラフパターンの組み合わせ



検索するグラフパターン

?s ?p1 ?o1 ?p2 ?o2

SPARQLでの記述



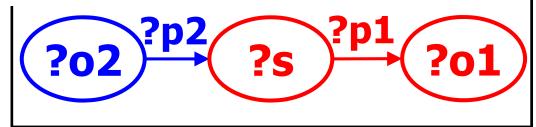
検索するグラフパターン



SPARQLでの記述

?s ?p1 ?o1. ?o1 ?p2 ?o2.

検索するグラフパターン



SPARQLでの記述

?s ?p1 ?o1. ?o2 ?p2 ?s.

例5-1:複数の述語を指定して, 目的語を取得する



■「大阪大学」の"本部所在地"と"創立日"取得する

PREFIX wdt: http://www.wikidata.org/prop/direct/

PREFIX wd: http://www.wikidata.org/entity/>

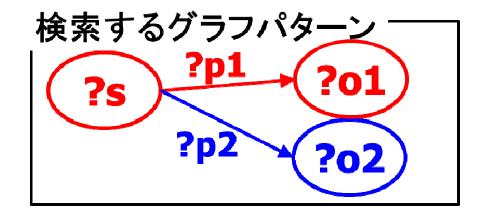
select ?o1 ?o2 where { 本部所在地

wd:Q651233 wdt:P159 ?o1.

wd:Q651233 wdt:P571 ?o2.

創立日

クエリを複数書くと、 AND条件として検索 される



補足: SPARQLの省略表現



■ 主語が同じ時の省略表現

```
PREFIX rdfs: <a href="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>"> select distinct ?p ?o where {
    ?s rdfs:label "大阪"@ja .
    ?s ?p ?o.
}LIMIT 100
```



```
PREFIX rdfs: <a href="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>"> select distinct ?p ?o where {
    ?s rdfs:label "大阪"@ja;
    ?p ?o.
}LIMIT 100
```

例5-2:述語と目的語を指定し, 主語の一覧を取得(ラベルを併記) M 法送 Brilding/Using Ontologies www.hozo.jp



■「大学」のインスタンスの一覧と、 その"日本語ラベル付き"を取得する

PREFIX wdt: http://www.wikidata.org/prop/direct/ PREFIX wd: http://www.wikidata.org/entity/>

PREFIX rdfs: http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#

select ?s ?o where {

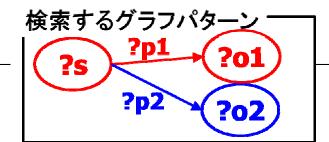
?s wdt:P31 wd:Q3918.

?s rdfs:label ?o .

FILTER (lang(?o) = "ja").

}LIMIT 100

クエリを複数書くと, AND条件として検索 される





例5-3:述語と目的語を指定し、 主語の一覧を取得(ラベルを併記) M 法造 Brithing (Mising Ontologius www.hozo.jp



■「大学」のインスタンスの一覧を取得し、 その"日本語ラベル付き"があれば、取得する

```
PREFIX wdt: <a href="http://www.wikidata.org/prop/direct/">http://www.wikidata.org/prop/direct/</a>
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikidata.org/entity/>
PREFIX rdfs: <a href="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#">http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#</a>
select ?s ?o where {
  ?s wdt:P31 wd:Q3918.
                                                OPTIONAL{ }で
                                                囲うとOR条件となる
  OPTIONAL{
    ?s rdfs:label ?o.
    FILTER (lang(?o) = "ja").
}LIMIT 100
```



クエリ練習5(a)



- (1)検索例5-1,5-2,5-3のクエリを実行する
- (2) 例の一部を書き換えたクエリを作って,
 - ■「大学」以外のクラスのインスタンス一覧を取得
 - 取得したインスタンス一覧の「日本語ラベル」も併せて取得する

例5-4:主語の述語と, その目的語 の述語を指定



■「大阪大学」の"本部所在地"と、その"日本語ラベル"取得する

例5-5:主語の述語と, その目的語 の述語を指定



■「大阪大学」の"クラス"と、
「大阪大学」の"卒業生"=「大阪大学を"educated-at"の目的語とする主語(?s)」を取得得する

PREFIX wdt: http://www.wikidata.org/prop/direct/ PREFIX wd: http://www.wikidata.org/entity/> select ?o1 ?o2 where { instance-of wd:Q651233 wdt:P31 ?o1. **?o2 wdt:P69** wd:Q651233 . educated-at 検索するグラフパターン



■「大学」と「卒業生」の組み合わせを取得する

PREFIX wdt: http://www.wikidata.org/prop/direct/

PREFIX wd: http://www.wikidata.org/entity/>

PREFIX rdfs: http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>

instance-of

select ?s ?univ / nere { university

?univ wdt:P31 wd:03918.

wdt:P69

educated-at

検索するグラフパターン

※例5-5の変数を 「主語から目的語」に変更

例5-7:主語と目的語の組み合わせ(日本語ラベル併記)



■「大学」と「卒業生」の組み合わせを取得する. 日本語のラベルを併記

```
PREFIX wdt: <a href="http://www.wikidata.org/prop/direct/">http://www.wikidata.org/prop/direct/</a>
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikidata.org/entity/>
PREFIX rdfs: <a href="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema">http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>
select ?univ ?univl ?s ?l where {
?univ wdt:P31 wd:Q3918.
 ?s wdt:P69 ?univ.
 OPTIONAL{
  ?univ rdfs:label ?univl .
  FILTER (lang(?univl) = "ja").
  ?s rdfs:label ?l .
  FILTER (lang(?l) = "ja"). } }LIMIT 100
```

クエリ練習5(b)



- (1)検索例5-4,5-5,5-6のクエリを実行する
- (2) 例の一部を書き換えたクエリを作って、
 - ■「大学」と「卒業生」以外の組み合わせを取得
 - 取得したイ組み合わせの「日本語ラベル」も併せて 取得する

検索例6

:カウントを利用したランキング

検索例6:カウントの利用



■ 例6-1)「大学」のインスタンスの数を取得する

```
PREFIX wdt: <a href="http://www.wikidata.org/prop/direct/">
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">
PREFIX rdfs: <a href="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#">
「データ数をカウントする関数

select (count (?s) AS ?c) where {
    ?s wdt:P31 wd:Q3918.
}
```

※本来は、select (count (distinct ?s) AS ?c) とした方が正確な数が得られる. (このクエリの場合、数は変わらず)

組み合わせのカウント



■ **例6-2)**「大学」と「卒業生の数」の組み合わせを ランキング

```
PREFIX wdt: <a href="http://www.wikidata.org/prop/direct/">http://www.wikidata.org/prop/direct/</a>
PREFIX wd: <a href="http://www.wikidata.org/entity/">http://www.wikidata.org/entity/>
PREFIX rdfs: <a href="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema">http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>
select ?univ ?univl (count(?s) As ?c) where {
 ?univ wdt:P31 wd:Q3918. ←○○のインスタンス一覧を取得
 ?s wdt:P69 ?univ. \leftarrow \times \times のプロパティが「〇〇のインスタンス」
OPTIONAL{
?univ rdfs:label ?univl .
FILTER (lang(?univl) = "ja") . データ数を集約(グループ化)
                                   する関数
}GROUP BY ?univ ?univl
ORDER BY DESC(?c) < 結果を並び変える関数
LIMIT 100
                                ※DESCを取ると、小さい順になる
```

クエリ練習6



- (1)検索例6のクエリを実行する
- ■(2)検索例の一部を書き換えたクエリを作って、 実行する
 - ■「大学」と「卒業生」の組み合わせ以外のラインキン グを取得するクエリを作成する